

のしろ市議会だより

わたし まち

2017年(平成29年) 10月25日 第46号



議会報告会の様子(扇淵地域センター)

◆ 特集 ◆

第1回能代市議会報告会

特集	2P
9月定例会の概要・審議結果一覧 ほか	3P～4P
一般質問	5P～8P
各委員会行政視察報告	8P～9P
各委員会での主な審査概要	10P～11P
議長・議会の主な動き ほか	12P

◆特集◆第1回能代市議会報告会

能代市議会では、市民の皆様に対して市政に関する情報を積極的に提供し、説明責任を果たすと同時に、皆様の意見を把握し、議会活動に反映させることを目的として、新たに「能代市議会報告会」（以下、「報告会」）を1年に1回、開催することとなり、8月21日に市内3会場で行いました。

平成28年度の議会の活動状況、予算、決算等の審議概要について報告したほか、御参加いただいた皆様から御意見を伺いました。詳細は市ホームページをごらんください。

班編成

武田正廣議長を除く議員で、三つの班を編成しました。班ごとの会場と出席議員は次のとおりです。

- 1班 檜山地域センター
伊藤洋文（班長）、小野 立、佐藤智一、落合範良、針金勝彦、安岡明雄
 - 2班 扇淵地域センター
畠山一男（班長）、菊地時子、藤田克美、安井和則、原田悦子、渡辺優子
 - 3班 二ツ井町庁舎（大会議室）
渡辺芳勝（班長）、小林秀彦、落合康友、菅原隆文、渡邊正人、中田 満、庄司弘八
- 参加者数**
1班 3名、2班 6名、3班 5名、計14名

参加者の皆様からの意見と議員からの回答

意見 田んぼへの行き帰り、日によっては朝から誰とも会わないことがある。人口をふやす方法を考えるべきでは。

答 市は「能代市人口ビジョン」で、本市の将来人口を、施策の効果のあらわれ方等により、5パターンに分けて推計しているが、いずれのパターンでも人口の減少は避けられない見通しであり、減少をどのぐらい緩やかにするかが、当面の目標となる。

意見 東能代駅前の住民が買い物難民となり、常盤、檜山、鶴形の地域から店がなくなった。高齢者が運転免許を返上し、東能代から二ツ井のスーパーへ200円バスで買い物に行っている。はまなす号の拡大を。

答 市では巡回バス、デマンドタクシー運行に一定の成果があるとしているが、さらに「地域公共交通網形成計画」への移行も見据えている。今の声をしっかりと受けとめたい。

意見 議員の活動が市民に見えない。

答 現在、議会改革の議論を進めており、市民との意見交換をしながら進めたい。

このほか、イオン出店、北高跡地、除排雪、小規模小学校の統合等の問題について、参加者から御意見や御要望がありました。

参加者アンケートの結果（1つ選択）

- 問** 議会報告会に参加していかがでしたか
- ・よかった……………(5名)
 - ・どちらかといえばよかった……(3名)
 - ・ふつう……………(2名)
 - ・どちらかといえばよくなかった(0名)
 - ・よくなかった……………(0名)
 - ・わからない……………(1名)
 - ・無回答……………(3名)

「よかった」を選択した理由

- ・直接お話しできて良かった。
- ・住民から活発な提案が行われていた。

「どちらかといえばよかった」を選択した理由

- ・なかなか回答がかみ合わないところがあった。求める回答が出ない。



檜山地域センター会場



二ツ井町庁舎会場

初年度の開催を終えて

各会場とも参加者が少なく、周知の手法、会場の選定などに課題を残すこととなりました。議会では、班ごとに取りまとめた実施報告書に基づき、市民の声を議会活動に生かす道を模索してまいります。

報告：小林秀彦 小野立

9月定例会の概要

29年度一般会計補正予算は 全会一致で可決

9月定例会は、9月5日から9月27日まで23日間の会期で行われました。提出された議案は、一般会計補正予算など全18件と、議員提案の規則の一部改正案1件で、平成28年度一般会計決算及び特別会計決算の認定議案を継続審査とし、その他全ての議案を承認・認定・可決・同意しました。陳情は2件を採択、2件を不採択としました。また、今定例会では、能代市議会広報委員会の設置を決定しました。なお、決算の認定議案は決算特別委員会に付託され、10月31日～11月1日に委員会を開催する予定です。

単行議案

◆能代市個人情報保護条例及び能代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正します。

◆法律の一部改正に伴い、情報提供等記録の定義の改正と条文の整理を行います。

◆能代市営住宅管理条例の一部を改正します。
公営住宅法施行令及び公営住宅法施行規則の一部改正に伴い、条文の整理を行います。

企業会計決算

・平成28年度能代市水道事業会計決算
・平成28年度能代市下水道事業会計決算

専決処分の承認

◆平成29年度能代市一般会計補正予算
(第2号) 670万円

一般会計補正予算

補正予算(第3号) 5億4300万円、
(第4号) 145万4000円が追加され、
予算総額は291億405万4000円となりました。

補正予算の主な内容・事業

◆財政調整基金積立金
3億2529万9000円

市の貯金に相当する財政調整基金に、前年度からの繰越金の2分の1を積み立てます。基金残高は46億3179万2000円です。

◆戸籍住民基本台帳費 2160万円
社会保障・番号制度システムの整備を委託します。

◆障がい福祉事務費 543万3000円
障害者自立支援給付支払等システムの改修を委託します。

◆企業誘致推進事業費 826万円
工場等省エネルギー設備導入事業

費補助金と工場等改修事業費補助金を追加します。

◆旧料亭金勇魅力向上促進事業費
891万2000円
国宝重要文化財等保存整備費補助金を活用し、旧料亭金勇を改修します。

◆道路維持費 699万8000円
谷地烏屋場線の法面を補修します。

◆閉校校舎解体事業費
8082万4000円
旧二ツ井小学校校舎等を解体します。

◆管理運営費(公民館)
344万7000円
二ツ井公民館馬子岱分館の施設修繕や、南部公民館の自動ドア装置の修繕等を行います。

◆文化会館改修事業費
4526万4000円
大ホール内の舞台吊物機構や大・中ホールの音響機器の改修工事等を行います。

◆施設管理費(子ども館)
2656万8000円
プラネタリウム設備を更新します。

◆道路河川災害復旧事業費
1205万円
29年7月22日からの大雨による河川災害の復旧工事を行います。

特別会計補正予算

・農業集落排水事業特別会計補正予算

・浄化槽整備事業特別会計補正予算
・浅内財産区特別会計補正予算
・常盤財産区特別会計補正予算
・檜山財産区特別会計補正予算
・国民健康保険特別会計補正予算
・後期高齢者医療特別会計補正予算
・介護保険特別会計補正予算

企業会計補正予算

・水道事業会計補正予算
(仮称) イオン新能代ショッピングセンター建設に起因する道路拡幅に伴う配水管移設に係る実施設計を委託します。

人事案件

次の人事案件に同意しました。

- 人権擁護委員 松洲美佐緒 伊藤 七重 (敬称略)

能代市議会広報委員会の設置

議会活動の更なる広報充実を図るため、議会だより編集委員会にかわり、能代市議会広報委員会を設置することとなりました。



審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：退席
 ※議長は可否が同数の場合以外は採決に加わりません。

議案番号等	議案名等	採決結果	平政・公明党							希望				改革ネットワーク (市民の声、日本共産党、改革のしろ)			議会改革を 推進する諸派の会							
			渡邊正人	落合範良	針金勝彦	原田悦子	庄司紘八	渡辺優子	後藤健	藤原良範	武田正廣	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	安井和則	菊地時子	小林秀彦	安岡明雄	渡辺芳勝	藤田克美	小野立	落合康友	中田満	畠山一男
(承)10	専決処分した平成29年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	能代市個人情報保護条例及び能代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
57	能代市営住宅管理条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
58	平成28年度能代市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
59	平成28年度能代市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
60	平成29年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
61	平成29年度能代市農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
62	平成29年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
63	平成29年度能代市浅内財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
64	平成29年度能代市常盤財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
65	平成29年度能代市檜山財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
66	平成29年度能代市国民健康保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
67	平成29年度能代市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
68	平成29年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
69	平成29年度能代市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
70	平成29年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
71	平成28年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
72	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議(2)	能代市議会会議規則の一部改正について	採択	●	●	●	●	●	●	●	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳53	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	採択	●	●	●	●	●	●	●	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳54	共謀罪(組織犯罪処罰法)の廃止を求める意見書提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳55	「全国森林環境税」の創設に関する意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	
陳56	(仮称)イオン新能代ショッピングセンターの出店計画及び市が行なった影響予測に関する市民向け説明会の開催について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

市民意識調査結果

今年度実施した市民意識調査において、市議会に関する質問項目を初めて設けました。その調査結果をお知らせします。

問 能代市議会では、議会だよりやホームページを通じて活動状況をお知らせしているほか、新たに本会議のライブ・録画中継を行うなどの取り組みをしています。市議会に対してどのようなことを期待しますか。(選択は2つまで。構成比は回答者784人に対する割合のため、合計値は100%になりません。)

- 1位 市民の意見を広く聴く取り
組みを充実する (53.3%)
 - 2位 市勢の発展に資する政策を
提案する (32.5%)
 - 3位 条例や予算等の内容が適正
か審議する (25.3%)
 - 4位 行政の事務が公正に行われてい
るかチェックする (24.6%)
 - 5位 特にない (14.4%)
 - 6位 議会活動に関する情報提供
を充実する (12.9%)
 - 7位 その他 (1.9%)
- 選択肢「その他」の主な意見
- ・議員数を削減する
 - ・休日や夜間に議会を開催し、傍聴しやすくする
 - ・議員の資質を向上する
 - ・政策を提案する際は予算規模も考慮する

後藤 健

平政・公明党

イオン新能代ショッピングセンター出店

【質】市はイオンが来る来ないにかかわらず、既存商店街も含め、中心市街地振興に力を尽くすと説明してきたが、これまでとってきた具体的な施策は何か。また、今後市民への説明は。

【答】能代市中心市街地活性化ビジョン、能代市中心市街地活性化計画を策定したほか、市民プラザ、畠町新拠点等を設置し、能代街なか商業情報発信調査事業等のさまざまな事業も行ってきた。今回実施したコミュニケーションは市ホームページに掲載するとともに、広報のしろへの掲載も予定している。住民説明会等は議会の意見や議論等を踏まえ、検討したい。

早期に運動施設の整備計画策定を

【質】子供たちが頑張っている中、東北大会以上の大きな大会誘致に向け、ソフトボール場、赤沼球場、市民プールを初め、スポーツ施設の整備計画を早期に策定すべきでは。

【答】市では平成29年3月に能代市公共施設等総合管理計画を策定した。今後は同計画に係る個別施設計画を策定し、存続・廃止を含め施設のあり方を示していくこととしており、スポーツ施設においても市民や競技団体の御意見、施設の耐用年数、各種大会誘致による経済波及効果等を考慮し、整備について検討したい。

その他の質問事項

- 落合テニスコート整備の進捗状況は
- イオン出店がメリットの判断理由は
- イオン建設と開店時期の説明はあったか

佐藤 智一

希望

野外活動に対し荒天時の中止基準義務化を

【質】昨今の天候急変は予測困難。本市がかかわる野外行事や工事、運動会や遠足においても一層の安全配慮が必要。主催者側に荒天時の中止基準や避難誘導計画等の提出を義務化する考えは。

【答】中止基準や避難計画を設定し、または主催者に求めることは、危機管理の観点から重要なことである。しかし、野外行事の開催場所、時刻、内容、規模、効果、影響等さまざまな状況が考えられるため、先事例等の調査研究が必要であり、その上で、行事立案の際には、それぞれの実情に応じてできる限り実施計画等に盛り込むよう検討したい。

国際クルーズ船受け入れに向け県との連携は

【質】港湾法改正により全国で国際クルーズ船受け入れ環境の整備が求められている。能代港の活用促進を目指し、港湾管理者の県との連携状況は。

【答】官民が連携し、クルーズ船の誘致及び受け入れ等を行うため県が設立した「あきたクルーズ振興協議会」に本市も参画し、誘致活動への協力や情報収集に努めている。今後、バス延長のための岸壁整備等に向けて取り組むとともに、受け入れ体制の充実や魅力的なオプショナルツアーの提案等について、関係団体と連携しながら検討したい。

その他の質問事項

- 休日市長等の所在の把握と共有は
- 気象台との情報伝達体制は
- 東京オリパラにてホストタウンの推進は

菊地 時子

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

介護予防・日常生活総合事業の実施状況

【質】2015年の介護報酬の引き下げに続き「要支援1・2」の方々への予防給付を自治体が独自に実施する新総合事業に変更された。介護報酬引き下げによる影響はないか。

【答】介護予防・日常生活支援総合事業を実施している市内の事業所数は、総合事業実施以降も減少していない。総合事業実施に伴い、保険給付から地域支援事業に移行した訪問型サービスや通所型サービスの介護報酬について、本市では移行前と同額としているため、事業所への影響はないものと考えている。

地域公共交通網の確立

【質】高齢者にとって運転免許の自主返納は日常生活に重要な変化をもたらす。「福祉」と捉える地域公共交通網の確立の早急な検討を。

【答】市では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく能代市地域公共交通網形成計画の策定を予定している。この計画の中で、高齢者を初め、交通弱者の通院や買い物足の確保を主目的とする施策を盛り込むこと等を検討しながら、より利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成に取り組んでいきたいと考えている。

その他の質問事項

- 介護保険利用料負担軽減措置の拡大
- 地域福祉の拠点づくり

小野 立

議会改革を推進する諸派の会

イオン出店、国策に逆行する市の政策

質 政府与党は、郊外に大規模集客施設を建設しないことを条件に、中心市街地活性化を重点支援する方針だが、市はイオン容認により国の支援をみずから放棄している。どう見るか。

答 本市の中心市街地活性化基本計画は、国の中心市街地活性化基本計画認定制度の認定を得る要件を満たしてはいないが、この制度の申請マニュアルに準じた形で取りまとめ、中心市街地活性化に資する事業を推進していることから、国の中心市街地活性化政策と方向性に大きな隔たりはないと考えている。

商店街への深刻な影響

質 イオン出店で最も深い傷を負うのは、商店街だ。それだけでなくもぎりぎりのところで経営を続ける個人商店を、この上、競争に巻き込めば、勝敗はおのずから明らかでないか。

答 事業者の経済活動においては競争はあると考えられる。地域経済の活性化につながる取り組みを推進していく中で、既存事業者の状況の確かな把握に努めながら、有効な対策のあり方を検討したい。

その他の質問事項

- 大量雇用は地元企業に大打撃
- 盛岡を例にした影響予測は不適切
- 商店の廃業で街づくりは核を失う

渡辺 優子

平政・公明党

災害危機管理対策

質 住民に緊急情報を知らせる「Jアラート」、情報伝達の時間を短縮できる新型受信機を導入すべき。あわせて避難情報などを各家庭に迅速に届けるために戸別受信機を導入すべき。

答 消防庁では平成30年度末までにJアラート新型受信機への移行を完了するよう各自治体へ通知しており、30年度中の導入に向けて準備していききたい。戸別受信機については、天候に左右されず屋内で防災行政無線の情報を受けられるというメリットがあり、受信機の低価格化や技術改良の動向を見ながら、導入について研究していきたい。

発達障がい者への支援

質 通常学級での取り組みが難しい時の選択肢に通級指導教室と特別支援学級、そして特別支援学校があるが、能代市の中学校には通級指導教室がない。ぜひとも設置すべき。

答 全国的にも、通級指導の小・中学生の数は年々ふえてきており、本市でも増加傾向にある。また、小学校から中学校までの継続した通級指導が望ましいことや、保護者の要望もあることから、県教育委員会と相談、連携しながら、来年度の設置に向けて検討したい。

その他の質問事項

- 電子母子手帳の導入

安井 和則

希望

「天空の不夜城」収納庫の整備は

質 こころ年で本市を代表するお祭りに成長した能代七夕「天空の不夜城」を今後さらに地域活性化につなげるためにも通年観光の拠点となる収納庫を備えた施設を早期に整備する必要性は。

答 平成28年11月に能代商工会議所から同趣旨の要望がなされているほか、市内外から、一過年で見ることはできないのか」などの問い合わせも多い。施設の整備費や管理運営のあり方等を考慮しながら、収納庫にどのような機能をどの程度まで持たせるのか、その方向性について引き続き検討したい。

中心市街地活性化計画と北高跡地は

質 中心市街地活性化を図るべく市がこれまで取り組んだ代表的事業と成果について。あわせて今後のあり方について検討するに当たり北高跡地活用計画との整合性を図る必要性は。

答 中心市街地活性化の拠点として、市民プラザ、富町新拠点、バスケミュージアムを設置したほか、商店街景観改修補助金を初め、各種事業を推進してきたことにより、市街地のにぎわい、能代逸品会やカルチャーセンターの立ち上げに結びついた。今年度中に、北高跡地の活用との整合性を図りながら、新たなビジョンや計画の策定について検討したい。

その他の質問事項

- 二ツ井地域の下水道整備
- 市営万町住宅建替事業

小林 秀彦

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

収入保険制度

農業災害補償制度が見直しとなり、既存制度と収入保険制度のいずれかの選択となる。しかし農家への情報が不足している。なるべく早期に情報の提供が必要ではないか。

法律の改正により収入保険制度の創設や農業共済事業の見直しが行われることとなったが、新たな制度の詳細については、今後、省令等で定められる。引き続き情報収集をすることも、加入申し込み窓口となる農業共済組合と連携しながら、随時、農業指導情報の配布や農業協同班長会議等を活用し、農家への情報提供に努めていきたい。

高校生世代まで医療費を助成すべき

現在、医療費の助成は中学生までとなっている。ひとり親家庭の児童については18歳まで実現しているが、全ての高校生世代まで医療費の助成を拡大すべきではないか。

医療費助成は、少子化対策や貧困対策などあらゆる方向から総合的に検討することとしているが、全ての高校生を対象とすることについては、市の単独事業として長期的に継続が可能か財政的な判断も課題となる。現在県で子育て支援の新たな事業を検討しており、今後、県が示す事業の動向も見ながら、市としての方向性を検討したい。

その他の質問事項

- イオン出店
○国民健康保険税

落合 康友

議会改革を推進する諸派の会

種子法廃止への姿勢と有機農業等の普及状況

国では平成26年に、30年ごろまでに我が国の有機農業の取り組み面積の割合を0.4%から1%へ倍増させる数値目標を示している。市内の取り組み推移状況は。

本市で米や大豆、野菜の有機・特別栽培に取り組み、秋田県農業公社等の認証を受けている個人・団体数は、27年度が14件、28年度が17件、29年度が17件。市では、有機農業等により地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組み農業者や、有機・特別栽培米等に取り組み農業者を支援する事業等を実施している。

全国学力テストが本来の目的に沿っているか

学力テストが自治体間競争に傾斜し、過剰な過去問題練習やテスト学力への偏重が著しくなり、本来の実施目的から逸脱している事例が全国的に問題視されている。本市の状況は。

過去問題への取り組みについては、全国学力・学習状況調査を受けるに当たり、事前に学習内容を復習させたり、問題形式になれさせたりすることは必要であると考えている。児童生徒にとって過重な負担にならないように、学習量と時間に配慮し適切に運用されている状況であり、本市においては本来の目的に沿って実施している。

その他の質問事項

- 小規模校児童と統合先校児童間の公平性
○イオン出店影響予測の信憑性

庄司 紘八

平政・公明党

旧東能代中学校跡地の利活用の検討は

第2次能代市総合計画1次素案に初めて「旧東能代中学校跡地の利活用」を取り上げてもらった。東能代まちづくり協議会から要望も出されており、検討結果を注目している。

平成27年、東能代地域まちづくり協議会長ほか2名の連名で、「仮称」のしろ健康拠点センター」整備の提案書が提出されたが、多岐に渡る施設機能について、行政需要を含めた課題整理等を行っている。現在策定中の次期総合計画1次素案でも旧東能代中学校跡地の利活用を課題としており、今後も関係各課による検討を進めていきたい。

能代市総合体育館の環境整備

水と階段の広場を、駐車場や多目的広場に改修したらどうか。体育協会や商工会議所からも要望が出され、施設に不便さを感じている。早期に解決を。

水と階段の広場への駐車スペースの拡大と、多目的広場の整備については、国の補助金等により整備した修景施設を、事業完了後間もないうちに取り壊すとすれば、補助金等の返還が必要となるなど、現時点では難しいものと考えている。なお、河畔公園全体で駐車スペース543台分を確保しており、通常利用では充足しているものと考えている。

その他の質問事項

- 能代市の観光のあり方
○東能代駅自由通路と無料駐車場は
○齊藤市長の4期目

安岡 明雄

改革ネットワーク（市民の聲、日本共産党、改革のしろ）

イオン出店「メリット」の説明責任を果たせ

質 影響予測、今後の経済見通しと雇用の検証、長期的メリットがあるか等、判断の根拠を示すことだ。「間違いないメリットがある」「ごまかすつもりはない」。

答 再度影響予測シミュレーションを実施した結果、規模の縮小に伴い減少しているが、市税の増収や新たな雇用の創出の場合、モールという近隣にない業態等から、総合的に判断し、出店は本市にとってメリットがあることに変わりはないとした。住民への説明会は、全員協議会における議会の意見や本議会における議論等を踏まえ、検討したい。

人口減少時代の土地政策の検証が必要だ

質 イオン出店は、新たな宅地開発に伴う行政サービスの需要によって財政負担を誘発する。まちの創生にとって、市民にとって利益を生むのか土地政策を検証し、説明する必要がある。

答 施策の推進にあたっては、市の土地利用関係の各計画も踏まえており、これらは、人口減少も見据えた上で、国・県との整合性を図りながら策定したものである。その検証については、それぞれの計画の見直し時期等に、必要に応じて行うこととなるものと考えている。

その他の質問事項

- 地方創生総合戦略の重要な視点
- イオン出店を容認した要件の崩壊
- 弾道ミサイル落下の「備え」とは

各委員会行政視察報告

総務企画委員会

視察日 7月5日～7日

視察市 東京都足立区・青梅市

視察項目

- ・ 足立区 行財政改革（窓口業務の外部化導入等）
- ・ 青梅市 複線型人事制度
- ・ 複線型人事制度
- ・ 総合長期計画「施策連動型のしくみ」の取り組み

役所の窓口業務を外部化する

足立区は、戸籍窓口業務、国民健康保険業務、会計管理業務、介護保険業務及び保健センター窓口業務を、平成26年から順次、外部化（民間企業との請負契約へ移行）した。背景には、職員数の削減による従来型の行財政改革に限界が見えてきたことがある。昭和57年に5853人いた職員が、この取り組みの開始直前に当たる平成25年当時には3438人にまで削減されていた。役所の業務には、法律上公務員でなければ行うことのできないものも多い。そこで、法的制約のない業務を選び出して委託の対象とした。民間移行に当たってはサービスの質の向上を大前提とした。委託の結果、窓口の数は以前の倍となり待ち時間が短縮されたほか、特に順番待ちをする人たちに対する役所の直営時代にはなかったきめ細かな気配りで、来庁者の好評を博している。

複線型人事制度で専門職員を育成する

「複線型人事制度」とは、役所内の通常の人事異動とは別建ての人事制度（二本目の線路）を設け、専門職員となることを希望する職員を一つの部署に

長く配置して、財務、法務、税務、福祉、教育、管財の6分野で専門職員の育成を図る足立区独自の取り組み。導入後、日も浅いため、応募職員はまだ少ないが、これにより行政課題の複雑化とベテラン職員の大量退職とに対応することを目指している。

施策連動型のしくみ「ぶらっとフォーム」

と「ぶらっとカフェ」

青梅市は総合長期計画の推進に当たって、市民自治会、NPO、ボランティア、企業、大学、専門家といったさまざまな個人や団体がそれぞれの特性を生かしながらアイデアを出し合って、まちづくりの課題と向き合う「施策連動型のしくみ」（「ぶらっとフォーム」）を導入。「連動」を実現するため、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、メンバーの組み合わせを変えながら少人数で話し合いを重ねる方式を採用した。この手法を一般に「ワールドカフェ」と呼ぶが、同市では前出の「ぶらっとフォーム」にちなんで「ぶらっとカフェ」と名づけた。多くの自治体で行われている市民参画型の協議会と比べたとき、深い相互理解や

新しい知識を生み出す上で有利と見ての採用だったが、結果は当初の期待を大きく上回るものだったという。同市では公共施設等総合管理計画の策定や青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及びそれに基づく政策の実施に際しても、この方式を取り入れている。

（小野 立）



全員協議会・・・通常の会議とは異なり、将来議決される事件や、現在問題になっている事件等について、議員全員で協議するために開かれるもの。正規の会議ではないため、審査・決定能力はない。

文教民生委員会

視察日 6月26日～28日
視察市 大阪府高槻市
埼玉県三郷市

視察項目

高槻市・地域と連携した特色ある学

校づくり

・子育て総合支援センター(カ
ンガルーの森)

三郷市・日本一の読書のまち三郷の
推進

・シルバー元気塾の取り組み

地域と連携した特色ある学校づくり

高槻市では、学校・家庭・地域の「横の連携」を生かした特色ある学校づくりを進めている。市内小中各校に1校当たり基本額60万円の予算を分配し、各校で独自性のある事業を展開する。地元企業による出前講座、地域住民との防災学習や緑化運動、高校生との活動交流などを行っている。

子育て総合支援センター

(カンガルーの森)

平成19年に市内の子育て支援施設を統括し開設され、子育て支援の中心を担う拠点施設。主要事業としては、親子講座や子育て講座の開催、子育て中の親と子供が無料で利用できるプレールーム、ファミリーサポートセンター、児童家庭相談所、児童発達支援事務所など。センターの役割として研修・研究機能、情報発信機能、交流機能、相談機能を持ち、社会福祉士や臨床心理士、保健師、保育士などの専門家が配置されている。

日本一の読書のまち三郷の推進

三郷市は日本一の読書のまちを宣言し、乳幼児から高齢者まで全ての市民を対象とした、市民総ぐるみの読書活動を進める。日本一の読書のまち三郷推進計画を28年より5力年で実施し、ブックスタート事業や小学校1年生に本を一冊プレゼントする「らんどせるブックよもよも」事業、家読を進めるための「全国家読ゆうびんコンクール」、子ども司書の育成など、特に小中学校を巻き込んで多岐にわたる施策を展開している。貸し出し利用者数や貸し出し冊数は年々増加し、新規事業の出張図書館など、貸し出し環境の向上に取り組む。

シルバー元気塾

元気な高齢者を心やすための筋肉トレーニング教室、また高齢者同士のコミュニケーションづくりをする場として平成10年に開始。ボディービル選手として功績を残した東京学芸大学講師の宮畑さんが監修をし、下半身の筋力を強化する運動や、腰痛や肩凝りに効果のある運動のプログラムを考案。塾の開催は月2回ペース、1回2時間のメニュー。視察時、会場には70～80人ほどの高齢者が参加しており、笑顔と熱気であふれ返っていた。28年12月末までの出席率は73.9%と高く、専門性と工夫を凝らした指導によって高齢者の参加意欲をかき立てている。

(落合康友)



産業建設委員会

視察日 7月3日～5日
視察市 千葉県市原市・香取市

視察項目

市原市・農業施策への取り組み

・公園整備(市原市総合公園)の取り組み

香取市・滞在型市民農園「クラインガルテン栗源」

・歴史的町並みを活用した観光

農業施策への取り組み

市原市では、農家数の減少と農業就業人口の高齢化が進む中、担い手不足収益の低下、耕作放棄地の増加、有害鳥獣被害の増加が深刻化し適切な対応策が必要となり、次世代農業の推進を掲げた。担い手不足解消に向けては、営農相談サポートセンターを施策の中心とし、農家の状況に応じた適切なマネジメントを行うほか、県・農協・先進農家等と連携した支援策を講じ、多様な担い手を育成している。また、次世代農業導入支援事業を立ち上げ、地方創生加速化交付金を活用し、「いちほら梨」の産地再生、木質バイオマス発電、都市住民交流施設の整備等を行いつつ、耕作放棄地の農地再生等を目指している。

市原市総合公園

市原市総合公園は、中心市街地と整備構想区域内の賑わいゾーンをつなぐ機能を担う交流ゾーンの核として、また、災害時の救援・救護活動拠点としての機能を担っている。総合公園内

には、健康遊具や、防災機能を有した、トイレベンチやあずまや等が整備されている。

滞在型市民農園

香取市の滞在型市民農園「クラインガルテン栗源」は、単なる収益施設としてではなく、「道の駅くりもと」を中心とした総合的な都市農村交流を展開するために整備された。全20区画ある市民農園の利用料は年間40万円だが完売しており、その利用者はほぼ都市在住の方。市の直営施設として運営しており、地元の農家がインストラクターとして野菜の栽培方法などの指導を行っている。またみそづくり、収穫祭、芋祭りなどの年間行事を通して、地元農家と都市住民お互いの顔が見える、ふれあい型の交流活動拠点である。

歴史的町並みを活用した観光

香取市の水郷佐原は、その周辺に古い商家が建ち並び「小江戸」と称され、国の重要伝統的建造物群保存地区となり、今も営業を続ける商家が多いことから「生きていく町並み」と評価され、小野川沿いには年間50万人の観光客が訪れている。今後香取市では、観光客の滞在時間の延長と再訪意欲の喚起を目的とし、観光客にわかりやすい情報の提供、観光ボランティアによる対話を通じ、より一層の情報提供を心がけたいとのことであった。

(小林秀彦)



各委員会での主な審査概要

総務企画委員会

質 能代市個人情報保護条例及び能代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について、行政機関以外が特定個人情報照会・提供を行うことは考えられるか。

答 健康保険や年金等の情報も含まれており、全国健康保険協会や健康保険組合、社会福祉協議会等が対象となるケースが考えられる。

質 地方交付税が減額となった要因は。

答 国勢調査による高齢者人口の増により高齢者保健福祉費が増額になると見込んでいたが、当初の見込みより減額となり、普通交付税の基準財政需要額が減額となったこと、また市税の増額等により基準財政収入額が増額となったことによるものである。

質 国の国宝文化財等保存整備費補助金の対象は。

答 この事業は、重要文化財建造物

及び登録有形文化財建造物を美しく保ち、観光資源としての魅力を向上させることが目的である。今年度から登録有形文化財も対象となったことから、旧料亭金魚の補修を考えている。

質 今後も学校施設等の解体を行う場合は、合併特例債の適用を考えていくか。

答 合併特例債は平成32年度まで使える有利な起債であり、教育委員会とも十分協議しながら、活用を検討したい。

質 臨時財政対策債が減額となった要因は。

答 当初、国が示した地方財政計画では、13%増とされており、それに基づいて予算計上したものの、決定額では3・4%の増であったことから、減額となった。

質 就業構造基本調査費について、当該調査の概要は。

答 国民の就業、不就業の状態を明らかにし、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料とすることを目的とする。

(小野 立)

文教民生委員会

質 社会保障・税番号制度システム整備委託料の概要は。

答 住基システムを改修するもので、本人の希望によりマイナンバーカード及び住民票等へ旧姓記載するとともに、マイナンバーカードにはローマ字の氏名及び西暦を記載するほか、その情報を地方公共団体情報システム機構へ伝送するための改修である。

質 旧二ツ井小学校解体工事のスケジュール、そして解体後の跡地利用は。

答 議決後に地域協議会、近隣の町内会長に説明を行い、10月下旬以降に入札参加者の公募を開始し、工事の完了は平成30年3月を見込んでいる。跡地利用については、今後全庁的に検討を行いたい。

質 閉校小学校の物品はどうなっているのか。

答 旧二ツ井小の物品については10月中に公売を予定している。旧仁鮎小、旧天神小、旧種梅小については既に公売を終了しているが、旧田代小、旧日影小、旧切石小については、順次公売を行っていききたい。

質 機種変更による保健室エアコンの設置工事は、今ついでにエアコンの機種を変更するという意味か。

答 現在、各学校の保健室にエアコンは設置しておらず、今ついでに機種を取りかえるのではなく、今後設置を予定しているエアコンについて、財源の見直しに伴い、当初予定していた機種を変更する。

質 図書室や職員室など夏休みでも使用する部屋にエアコンの設置を検討しているか。

答 保健室以外については、学校からの要望や、他市町村の状況を参考にし、必要性を見ながら検討する。

質 文化会館の改修工事の時期について。

答 例年利用者が減少する1〜2月ごろに工事を行いたいと考えている。

質 子ども館のプラネタリウム設備の更新状況について。

答 今回が初めての更新となり、光学式のものから、デジタル式のものへの更新を考えている。

質 災害備蓄用非常食の補填内容とは何か。

答 6月22日の異物混入により提供できなかった第四小学校、第二中学校合わせて900食分の給食について、市の災害備蓄用非常食で対応したため、その分を補填するものである。

(落合康友)

産業建設委員会

質 水道整備事業の今後の見通しは。
答 今後の経営状況の見通しについては、一般家庭の節水意識の向上、少子高齢化や人口減少等が見込まれ、また、設備投資に係る企業債償還等の支出が増加する見込みで、企業経営は厳しくなっていく。今後も建設改良事業の平準化や企業債の借り入れの抑制、経費の削減に努める。

質 住民は少しでも早い下水道整備を期待しているが、どのように考えているか。
答 極端な企業債の借り入れや、一時的な改良事業の増加は経営の圧迫が懸念され、バランスをとりながら整備を進める必要がある。整備を望んでいる地域の方々には、可能な限り早期に整備できるよう努力したい。

質 イオン出店に関し、農地転用、開発許可について審査中で許可の決定がおりていない状況の中で、予算を計上しなければならぬのか。
答 この実施設計の予算は、配水管移設の事業費見込み等の設計をするためのものである。開発行為等の許可がおりなければこの実施設計は無駄になるかもしれないが、イオン側の負担で実施設計を進めたいと考えている。

質 街なか商店街イメージアップ補助金の概要は。

答 来街者の増加を図るため、建物景観の改修または建物解体工事をしようとする方を支援するもので、シャッターの塗装、外壁の補修、木質化等への改修などが補助対象となっている。

質 旧料亭金勇は木都のしろを象徴する建物であり、景観が変わらないような改修、修繕ができないものか。
答 今回計上した実施設計業務委託料は、文化庁の補助金を活用して改修を行うもので、専門家の意見を伺いながら進めたい。

質 旧料亭金勇の今後の改修の考え方は。
答 国の登録有形文化財となっているため、外観は変えず、現在の状況で復元、改修を行い、歴史的な価値をそのまま後世へ引き継ぎたい。

(小林秀彦)



産業建設委員会の様子

庁舎整備特別委員会

質 第一庁舎の各執務室において、床のどこぼこや天井から電話線等の垂れ下がりなど、以前と同じ職場環境にある。労働環境改善のため新庁舎と同様にOAフロアにするなど検討できないか。
答 第一庁舎の改修は、当初より事業費を抑えるという考え方で、レイアウトの変更に伴う間仕切りの撤去及び新設、空調機器の設置、老朽化した設備の更新、現行の建築基準法に適合させるための改修等を行うことと進めてきた。職場環境の向上については今後検討していきたい。

質 執務室の床のどこぼこを改修しなかったのは改修工費が不足であったためか。
答 改修工費の算定に当たっては、基本計画の段階で国土交通省の基準を参考に概算工費を積算し、その額を目安として実施設計する際、改修箇所の内容を検討したところ、床の改修ができなかったものである。

質 長い期間使用する庁舎であるため、職員の執務する床の部分だけは経費をかけて改修することは考えられないか。
答 キャビネットや机と床にすき間が生じた場合は、簡易な方法で当面対応していくことになるが、執務室の床の改修については、工事期間、経費、手法などについて検討し、可能な方法があれば対応していきたい。

(佐藤智一)

議会基本条例策定特別委員会

当委員会は、6月定例会において、議会基本条例の策定に向けた調査及び検討を行うため、委員定数8名とする特別委員会を設置し、7月24日及び9月22日に会議を開催した。

委員会の進め方について

意見 議会改革に関する検討会から議会運営委員会へ提出される報告書や資料を参考とし、今後の協議を進めてはどうか。

意見 条例の策定スケジュールをいつまでとするかによって、本委員会を開催する頻度が変わってくる。報告書等資料のうち、各党派提出の議会基本条例に対する意見や条例案等の資料をもとに、早期に検討を進めたい。

意見 議会運営委員会において、報告書の取り扱いを、本委員会へ送付するか決まらなければ、活用するかの結論を出すことは難しい。

協議結果 議会運営委員会から本委員会へ報告書が送付された後、各党派で報告書の内容を精査し、議会閉会中の11月に委員会を開催の上、条例策定期のめども含め、検討を進めることとした。

(落合康友)

要望活動

武田正廣議長は、県内13市議会で組織する秋田県市議会議長会の活動として、8月23日に菅義偉内閣官房長官、県選出国会議員に県内の課題の解消に向けて要望書を提出してきました。

提出した要望事項のうち本市に関するものは次のとおりです。

- 能代港を活用した地域振興について
- 高速交通体系の整備促進について

議会の主な動き

- 6月26日 文教民生委員会行政視察 (28日まで)
- 7月3日 産業建設委員会行政視察 (5日まで)
- 5日 総務企画委員会行政視察 (7日まで)
- 21日 全員協議会
- 24日 議会基本条例策定特別委員会
- 8月21日 全員協議会
- 29日 議会報告会
- 29日 会派代表者会議
- 9月5日 議会運営委員会
- 14日 会派代表者会議
- 19日 各常任委員会
- 21日 庁舎整備特別委員会
- 22日 議会基本条例策定特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 9月定例会閉会

議長の主な動き 7月～9月

- ・秋田県市議会議長会
- ・日本海六県港湾都市議会協議会総会
- ・東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望
- ・秋田県北部市議会連絡協議会
- ・能代市成人式
- ・能代山本広域市町村圏組合議会臨時会
- ・能代市戦没者追悼式・平和祈念式典
- ・秋田県市議会議長会県選出国会議員へ要望活動
- ・能代地域活性化協議会常任委員会
- ・能代山本北都会
- ・ねんりんピック総合開会式
- ・国民体育大会「愛媛国体」全国障害者スポーツ大会「愛媛大会」出場選手壮行会

議長の交際費を公開します 《7月～9月分》

- ・能代市行政協力員会議及び自治会連合協議会総会懇親会 5,000円
- ・北都親交会講演会終了後の懇親会 5,000円
- ・日吉神社例祭・神幸祭宵祭終了後の直会 5,000円
- ・三陸・大船渡夏まつり懇親会 5,000円
- ・東北総合体育大会柔道競技会レセプション 5,000円
- ・第13回能代宇宙イベント懇親会 5,000円
- ・株式会社道の駅ふたつ 創立祝賀会 5,000円
- ・能代山本北都会懇親会 5,000円
- ・秋田県飲食業生活衛生同業組合二ツ井支部二ツ井・藤里地区料飲組合結成50周年記念大会祝賀会 10,000円

※詳しくは新庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。
※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規定」に準じて支出しております。

【議会を傍聴しませんか】

12月定例会は、本庁舎（新庁舎）3階の議場で行います。予定は左の表のとおりです。どなたでも傍聴できますのでお気軽においでください。備え付けの「傍聴者名簿」に氏名・住所を記入し、傍聴席へお入りください。

12月定例会の予定

- (招集場所：能代市本庁舎議場)
- 5日(火)……開会・提案説明
 - 11日(月)～13日(水)……一般質問・議案の質疑
 - 14日(木)～15日(金) 常任委員会
 - 18日(月)……議会基本条例策定特別委員会
 - 20日(水)……議決・閉会

会議の日程及び開議時刻(午前10時)は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

本会議のインターネット中継を行っています

インターネット動画サイト「YouTube」を利用し、本会議のライブ中継と録画中継を行っています。市ホームページ「能代市議会」のページでも本会議の様子を見ることが出来ます。

なお、本庁舎（新庁舎）1階市民交流スペース及び二ツ井町庁舎1階市民フロアに、設置している大型モニターでもライブ中継を見ることが出来ます。

会議録が閲覧できます

市ホームページ等から市議会会議録の検索と閲覧ができます。下記URLからもご覧になれます。

能代市議会会議録の検索と閲覧

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/noshiro/noshiro.html>

編集後記

新庁舎完成から10カ月、このたび第一庁舎の改装工事も終わり、本庁舎全体での業務が始まりました。9月議会的一般質問では、10名中5名に具体化したきた(仮称)イオン新能代SC関連の質問があり、提出議案や陳情にもイオン出店に関連する審議事項もありましたので、さながらイオン質疑の議会との様相を呈しました。

議場での審議の様子はインターネットで配信され、ごらんいただいた方も多かったですと思います。

今、能代市議会では開かれた議会を目指して、議会の中継や議会報告会を開催するなど、議会改革に取り組んでいる最中ですので、御理解のほどよろしくお願いいたします。(菅原隆文)

【御意見・御感想をお寄せください】

のしろ市議会だより「わたしのまち」をごらんになった皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

〒016-8501

能代市上町1番3号

能代市議会事務局宛

議会だより編集委員会

- | | | | |
|----|-----|-----|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 落合 | 小佐藤 | 小野林 | 落合 |
| 正隆 | 秀智 | 立彦 | 友一 |
| 良人 | 文彦 | 立彦 | 友一 |